



第 127 号
 千葉県肢体不自由児者父母の会
 会長 中島 哲男
 編集人 父母の会広報部
 千葉県美浜区磯辺 2-21-1
 TEL・FAX 043(303)0582
 fubonokai@ia4.itkeeper.ne.jp

ハンドアーチエリー大会

10月3日(土)桜が丘特別支援学校体育館において総勢73名で開催されました。

初めての試みということで、事前に練習日を設け、全肢連の方に競技方法を教えていただきましたが大会当日は、少し不安もありました。



全肢連、松戸市父母の会などからもお借りして、ハンドアーチエリー4台補助具3台で競技しました。

基本のルールではなく、参加者誰もが楽しめるようにと、3台は、本人と保護者の組み合わせにして、先に本人が補助具を使って5回行い、その後保護者が5回投てき、合計点で順位を決めることにし、もう1台は、補助具無しで兄弟やその他の付添者が投てきするというルールにしました。

賞品は、1位・2位・3位・兄弟の1位に会長賞を設け、その他は、参加賞としました。

競技開始直後から歓声が上がリ、各台ともスムーズに進行していき不安もかき消されました。補助具があることで、障害が重くても少しの力で、ピンが飛びボード(的)に当たります。子どもたちが、補助具を押してからピンが飛び方向を、ジッと追って、当たった時(当たると音が鳴る)のとびきりの笑顔が、印象に残っています。意外



みごと1位に!

と保護者のほうがボードに当たらず、笑いを誘っていました。

先生方からも学校で実施してみたいとの声が上がりました。障害の有無にかかわらず誰でも楽しめます。これからも有効に活用していきたいと思っております。

最後になりましたが、ご挨拶を頂きました袖ヶ浦の小林校長先生と桜が丘の林校長先生、ボランティアとして参加頂きました両校の先生方、淑徳大学の学生の方々、皆さまのご協力のおかげで大会が無事に、そして盛況の内に、終了することが出来ました。

あらためて感謝申し上げます。(友野)

●●大会に参加して●●

ハンドアーチエリー大会に親子で参加しました。ハンドアーチエリーは初めてでしたが、練習する時間があり、

本番で的に矢を当てることができました。的に矢が当たると音が鳴るので、喜んでいました。初めてでも楽しむことができたので、参加してよかったと思いました。(栗飯原 礼子)

はじめは、ハンドアーチエリーというものが、わが子にとって、楽しくできるのか不安でしたが、補助具を使って投てきできるので、皆さんと大いに盛りあげられました。将来的にもっと普及して、施設などで利用できたらよいなと思いました。(橋本 美保子)



※ハンドアーチエリー貸出しています。事務局までご連絡ください。



研修会

「相談支援を上手に使うには」

平成27年9月16日(水)、千葉県市川市、千葉市ハートモニーパーク3階の共同会議室にて、ダイアフレンズ美浜の相談支援事業所より相談支援員の井口由美子さんを講師にお迎えし、相談支援についての研修会を行いました。父母の会員からは就学中のお子様の保護者、施設に通所・入所しているお子様の保護者、合わせて21名の方の出席がありました。まず、あらかじめ準備して頂いた資料に沿って

27年7月1日(現在) あるようですが、他市同様に千葉市でも相談支援員は不足し、事業者の参入が進んでおらず、計画相談支援を受けているのは全障害児者の5、6割ということでした。このような現状をふまえて、参加者による質問が1時間程度行われました。会の最後には参加者の感想や学校、通所、入所とそれぞれのお子様の様子等の話もあり、熱の入った研修会となりました。(研修部 山中)

●● 研修会に参加して ●●

いつか利用してみたいという漠然とした思いでしかなかった相談支援を、子どもの成長と共に必要性が迫ってきた現状。

どこからどう行動を起こすべきか、今回の研修でとても分かりやすく理解することが出来ました。

今後相談しながら上手に利用していきたいらと思います。(栗原美由紀)

相談支援事業について、制度のしくみから具体的な相談内容まで詳しく教えていただきました。福祉サービスを利用していなくても相談にのってもらえることが聞いて良かったです。障害児のいるほかのご家庭にもぜひ伝えたいと思います。

貴重な勉強の機会をありがとうございました。(佐々木あづさ)

関東甲信越肢体不自由児者父母の会連合会 茨城大会

平成27年7月1日(土)水戸市にて「どうしたら地域社会で共に幸せに暮らしていけるか」のテーマで開催されました。私は第1分科会「医療的ケアが必要な重度障害児者が地域社会で生きていくために」に参加しました。

提言者が3名で東京都の方は、経営栄養・吸引等の医ケアを受けての地域生活と施設の現状を、神奈川県の方は、人工呼吸器での在宅介護生活、群馬県の方は、グループホーム設立までの経緯と現況(現在は胃ろうでの医ケア)を話されました。

東京と神奈川の方は、現在は福祉サービスを利用して生活できて

いる。入所可能な施設がないことで、将来の生活設計をどのように考えるかが課題となっている。と発表されました。

群馬の方のお話の中で、考えさせられたことは、医ケアを受けている方のグループホームには、看護師(准看護師)の確保が必要だが賃金が高いため運営が厳しくなり、難しい状況にあるということでした。

参加者の中からも常勤の看護師が必要となると運営上無理、受けてくれる法人も無いという意見も幾つか出ました。問題点山積です。(友野)

県肢連施設見学

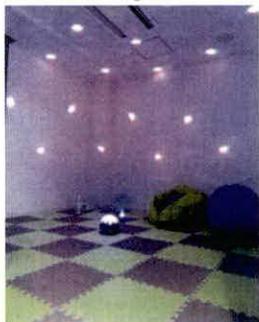
10月22日、船橋市にあります社会福祉法人千葉県福祉援護会が開設しました障害者通所施設「アトリエブレージュ」の見学に千葉市から3名参加しました。

4月に開設された「アトリエブレージュ」は、船橋市の土地を借りており、保育所・母子発達支援センター等の市施設が建つ中の一角にあります。

この施設は、今まで見学した所と違うことが多くありましたのでいくつか報告します。

○毎日入浴可能で、利用者を2つのグループに分け、午前午(過)ごす場所

を変え
る事で
活動も
し易い。
○食堂
を一般
開放し、
利用者と同じスペースで食事を楽しむ。
○食事等関わった職員がタブレットに情報を入力し、退所時にプリントして家族に渡し、全職員・家族が情報を共有する。



スノーグリーン&相談室

最新設備だけではなく、施設の利用者に対する姿勢は勉強になりましたので皆さんにも見学をお勧めしたいと感じました。(田中)

夏期支援

今年度の夏期支援は、昨年と同様にハーモニープラザ多目的ホールにおいて、7月29日に音楽療法、8月25日にスポーツレクリエーションを親子参加で行いました。

音楽療法は17組の親子の参加があり、フォレストサウンドの方々をお招きし、リズム遊びやトーンチャイムで「少年時代」を親子で演奏、スヌーズレンの光遊びなどを楽しみました。

スポーツレクリエーションは、15組の参加で、宍倉先生を中心にボランテニアの学生さんのご協力を得て、的当てゲームや玉入れ、バルーンの下のマットに寝転び、風を感じてリラックスマしました。

長い夏休みの中、久し振りにたくさ



んのお友達にも会え、親子共々、元気をもらえた楽しいひと時でした。

御協力頂きました講師の先生、ボランテニアの皆様感謝申し上げます。

（行事部 池上）



参加者の声

スポーツレクリエーションに毎年参加しています。準備体操が終わると眠くなっていますが、今回は起こすとパツと目覚め、的当てゲームを最後まで頑張りました。宍倉先生や学生ボランティアに「今日は眠らずに頑張っていたね」と褒められると、中学3年の息子の得意気な表情で、親もうれしい気持ちになりました。

（近藤美紀）

初めて参加させて頂きました。フォレストサウンドの方の演奏と歌声が心地よかったです。歌に合わせて歩いたり、楽器をさわらせて頂いたり、ライトを体験してみたり、役員の方々、ボランテニアの学生さんのサポートでとても楽しい時間が過ごせました。

（佐藤陽子）

プール事業報告

毎月第3日曜日、ハーモニープラザ水浴訓練室にて行っています。今年も6、8、10月に「ゆめけん」の指導員の方々に来て頂き、また新しいメンバーも増え、楽しく活動しました。（池上）

☆プール後の井戸端会議☆

この活動に参加して10年、世代交代があり、一番の古株になりました。温泉やプールは大好き！身体の緊張が強くなる冬場は、プールをやるとやらないのでは大違いです。

また「ゆめけん」さんにも色々な水中ストレッチの動きを教えてもらい、楽しく参加しています。

もう一つの楽しみはプール後の時間の許す同志の井戸端会議！自分で選んだおやつを年下の仲間に兄貴風を吹かせてあげ、食べながら話す時間がなんと



とも心地よいのです。プールのこの時間が外での関係も深くしています。

（清水洋明）

文化祭

10月31日(土)、桜が丘特別支援学校、袖ヶ浦特別支援学校の文化祭に出店しました。

手作り品等の提供は随時受け付けています。これからもよろしくお願ひします。



● 袖ヶ浦特別支援学校



● 桜が丘特別支援学校

活動報告

- 7月29日 夏期支援 音楽療法
- 8月3日 ハンドアーチェリー練習会
- 8月25日 夏期支援 スポレク
- 9月16日 研修会「相談支援を上手に使うには」

- 10月3日 ハンドアーチェリー大会
- 10月31日 文化祭バザー出店

(桜が丘特別支援学校)
(袖ヶ浦特別支援学校)

- 11月28日 バザー出店
- (ハーモニープラザフェスタ)

- 12月1日 保護者の親睦旅行
- 横浜方面

- 12月5日 千葉市障害者福祉大会

表彰

文化の日 千葉県功労者表彰
中島 哲男会長

この賞は、昭和23年に文化の日が制定されたのを機に始まり、本年度68回目になります。

文化の日にあたり、各方面でそれぞれの顕著な功績を挙げ、千葉県の発展に多大な貢献をされた方々が、千葉県からの推薦で表彰されました。

当会では初めての受賞になります。



ウインズめーる



芸術の秋

大阪 光世

「雅楽」をご存じですか？

奈良、平安時代から宮中で演奏されてきた音楽で、現在では神前結婚式やおめでたい席で流れているのを耳にする事がありますね。

毎年10月に皇居で行われる雅楽の演奏会に、7月の公募で当選したので一人で行ってきました。

東儀秀樹氏の笙、ひちりきの演奏をテレビでしか聞いた事のない私でしたが、宮内庁式部職業部の方たちの演奏は宇宙的な旋律、微妙に変化をつけながらゆったりとしたリズムで心が洗われる様でした。

第17回千葉市障害者福祉大会

12月5日(土)に、ハーモニープラザ多目的ホールにおいて、第17回千葉市障害者福祉大会が開催されました。

人気お天気キャスターの森田正光氏の講演では、わかりやすく、楽しい語り口で皆が笑いと感動の渦につつまれ、あつという間のひとときでした。



れる様でした。

千数百年の歴史をもち、世界で最も古い音楽の雅楽の伝承を守り、後継者の育成をはかるこの演奏会。前半は「管楽」笙、ひちりき、笛、鼓、琵琶、箏が奏する唐楽の合奏4曲。後半の「舞楽」は管絃に舞が加わります。

聖徳太子が笛を吹いているとその妙なる調べに打たれて山神が現われ笛に合わせて舞った様を舞楽にした「蘇莫者(そぼくしや)」は手足の動きが早く、力強く舞う姿と大きな太鼓の響きわたる音が合わさり迫力がありました。装束、面、冠も華やかで美しく目をみはる物でした。

現実の世界からかけ離れた気分になれるこの雅楽演奏を皆さんも体験してみたいかがですか。

ハーモニープラザフェスタ
フリーマーケット

11月28日(土)に、フリーマーケットに参加しました。

皆様に多くの品物を提供していただき、盛況の内に終わることができました。

ご協力ありがとうございました。これから、これからも、よろしくお願いたします。



訃報

中島 あや子さん
(規雄さん母)

池田 喜代子さん
(香さん母)

ご冥福をお祈りいたします。

あとがき

今年も残すところあと2週間、皆様お正月はどの様に過ごされますか？

我が家は毎年浅間神社へ初詣に参ります。元旦は参拝の人で階段まで長い行列ができる神社ですが、狙い目は2日の夜。境内には所々ポツと灯りがともりなかなか風情があります。人出もまばらですので、周囲の人に気を使う事もなく、車イスの息子のペースでゆっくりと神前に手を合わせます。防寒対策はしっかりと。それでも冷えてしまった身体は甘酒で温め、息子が握りしめた破魔矢の新しい鈴の音とともに、神社の坂道を下ってゆきます。次男の高校受験の年の事、枝に結ばうとした絵馬に書かれた志望校の文字が間違っている事に気付き、あわててつけ換えたのも今ではいい思い出です。(ちなみにその志望校はみごとに不合格でした。当たり前ですよね。)

さて、皆様にとって今年はどうな年だったのでしょうか。1年間のびるをご愛読いただきました事に感謝しつつ来年も又素敵な出会いがある事を願っております。

(箱)